



第10号
令和2年2月

発行・編集/
名東土木事務所
TEL：703-1300
FAX：703-8452

今年も暖冬かな

年が明けた2日、北欧のノルウェーで19℃という統計が残る中で最高気温を記録したそうです。名古屋でも暖かい日が続いています。雪が観測されず、こちらでも1月23日現在で初雪がないのは観測史上初めてとのことですが、もう節分も過ぎ、立春も過ぎてしまいました。

土木事務所としては、降雪対策や路面凍結防止剤の散布の心配をしなくてすむのでありがたい話ですが、それよりも温暖化が心配です。それから新型コロナウイルスも。豆をまいて厄や災難、すべて祓ってしまいたいものです。



歩道の防護柵について

昨年5月に大津市で発生した園児の痛ましい事故を受けて、名東区でも事故の多い交差点などを点検し、保育所等の要望も参考にしながら交通安全対策を進めています。このうち、歩道と車道の間を設置する防護柵について紹介します。

防護柵には板状の柵でできた「ガードレール」と、細いパイプでできた「ガードパイプ」があり、交差点付近では見通しを確保するためにガードパイプを設置することが多いです。車の直撃から歩行者を守るほか、歩行者が車道へ出てしまうことを防ぐ役割もあり、目的によって使い分けています。防護柵も万能ではないので、運転する時にぶつからないのはもちろんのこと、歩道を歩く時や信号待ちをする時も、車の動きに注意し、突っ込んできたときに備えてなるべく歩道の内側を歩く等、自分の身を守ることを心がけましょう。



↑これがガードパイプです。

牧の池中職場体験学習

牧の池中学2年生の生徒2人が、11月14、15日の2日間、名東土木事務所に職場体験学習に来ました。2人には、道路パトロールの他、いろいろな現場作業を体験してもらい土木事務所（の大変さ？）を知っていただけたかなと思います。この経験を活かし、将来は、土木関係の仕事に就いてくださいね。



猪高緑地内の急傾斜地工事

現在、名古屋市では「名古屋市災害対策実施計画」に基づき、がけ崩れの危険がある箇所の対策工事を進めています。名東区においても猪高緑地内二箇所にて県が定める土砂災害警戒区域があり、平成30年度から平成31年度にかけて急傾斜地の補強工事を実施しました。今回の工事では猪高緑地の自然景観に配慮して、地形を改変する必要のないノンフレーム工法を採用しました。ロックボルトという長い棒を斜面に打ち込み、その上から支圧板とワイヤーロープで押さえつけることによって斜面の安定を図っています。現在は完成直後のため斜面に設置された構造物が見えていますが、下草が生えてくると周りの景観と馴染んで外から分からなくなっていくます。



↑ロックボルトを打ち込む機械



↑強度を測っています



↑完成後の様子

表から見てもわかりませんが、長さは3m~4mほどのロックボルトが打ち込んであります。

「工事のお知らせ」がやってきた・その2

(前回のおさらい)

「工事のお知らせ」がやってきた後、しばらくして工事が始まりましたが、何か様子がおかしいんですけど…。

終わったと思ったらまた始まります。とうとう道路は、つぎはぎだらけになってしまいました。いったいどういうこと？

実は道路全体の舗装工事の前に家庭への取り付け管を取り替えていたんです。舗装工事の前に古くなった水道管やガス管を取り替えることによって、長期間、水道やガスを安心して使えるようになるし、水道やガスの工事のために何度も何度も舗装し直す必要もなく、道路の継ぎはぎをなくすことができます。

舗装工事がおわって、こんなにきれいになりました。ご協力、ありがとうございました！（おしまい）



名東土木だよりバックナンバーは名古屋市のトップページ <http://www.city.nagoya.jp> からサイト内検索「名東土木だより」でご覧いただけます。

次号もご期待ください。